

鳥取県知事 平井 伸治 様

要 望 書



アイディアが降りたまち
麒麟のまち
Kirinnomachi

令和4年4月27日

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏

鳥取市長	深 澤 義 彦
岩美町長	長 戸 清
若桜町長	上 川 元 張
智頭町長	金 兒 英 夫
八頭町長	吉 田 英 人
香美町長	浜 上 勇 人
新温泉町長	西 村 銀 三

要 望 書

平素より公共交通政策の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先日4月11日にJR西日本は「ローカル線に関する課題認識と情報開示について」と題して、輸送密度（平均通過人員）が2,000人/日未満の17路線30区間の収支情報を公表しました。当該路線は、大量輸送という観点で鉄道の特性が十分に発揮できていない状況とされ、山陰線（城崎温泉～浜坂）、（浜坂～鳥取）及び因美線（東津山～智頭）が該当しています。

JR西日本の長谷川社長の会見では「何らかの結論ありきの話ではない」としながら、今後「地域公共交通計画」の策定などの機会に積極的に参画し、地域のまちづくりや線区の特性・移動ニーズをふまえて、鉄道の上下分離等を含めた地域旅客運送サービスの確保に関する議論や検討を幅広く行いたいとのことであります。

両路線の鉄道運行は、通勤や通院、学生の通学など、住民の日常生活だけではなく、観光や地域振興においても重要な役割を担っています。新型コロナウイルスの影響で人流が減少している現状ではありますが、アフターコロナに向けて、鉄道運行が持続的に確保されることは地域にとって重要であります。鉄道の減便や廃止は、住民の利便性を大きく低下させ、さらなる利用者離れの要因となり、地域そのものが衰退へ向かうことが強く危惧されます。

つきましては、地域の鉄道路線を守るため、次の要望事項を実施していただくようお願いいたします。

【要望事項】

1. JR西日本に対しては、収支以外にも全国的な鉄道ネットワークの意義や通勤・通学・通院等、地域交通の重要性などの理解を求めていくこと。
2. 今回発表があった経営状況が厳しいローカル線の維持・存続に向けて、他府県とともに、国に対して積極的な関与と支援を働きかけること。
3. 沿線市町とともに利用促進や利便性向上に向けた取組みをより一層推進していくこと。